

# 令和 5年度施策評価書

政策	05 安全安心で快適に暮らせるまちづくり
施策	04 環境にやさしい持続可能な社会の推進
主管課	環境課
関連課	下水道課、商工観光課、環境課、農政課、建築住宅課
施策が目指す姿	市民・事業者/豊かな自然を守り、環境にやさしい良好な暮らしをしている

## 方針

令和 5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボンシティの実現に向け、環境にやさしいライフスタイルや事業運営への転換を促進するため、学校、家庭、地域、事業者と連携して環境への取り組みを推進する。</li> <li>・燃やすごみの減量をさらに進めるため、市民の意識啓発を積極的に図るとともに、事業者には適切な廃棄物処理方法について理解を求める。</li> <li>・環境マナーや環境美化意識を高めるとともに、市民・団体・事業者が実施する地域美化活動を支援する。</li> <li>・国、県、事業者と連携し、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の積極的な導入支援により普及促進を図るとともに、公共施設への設置を推進する。</li> </ul>
--------	--

## 指標

成果指標名①	自然環境の豊かさに満足している人の割合				単位	%
					達成率区分	増加目標
		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	計画		72.2	72.2	72.2	72.2
	実績	72.1	72.9	75.2		
達成率			100.97%	104.16%		
成果指標名②	温室効果ガス排出削減量（2013年度比）				単位	%
					達成率区分	増加目標
		平成30年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	計画		10.7	22	24.5	27
	実績	10.4	19.7	19		
達成率			184.11%	86.36%		
成果指標名③	家庭系燃やすごみの排出量（㍻）				単位	トン
					達成率区分	削減目標
		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	計画		23,669	23,430	23,114	22,847
	実績	24,282	23,548	22,461		
達成率			100.51%	104.31%		

## 事業費内訳

(単位：千円)

		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	計画	0	0	3,794,275	
	実績	0	0	3,597,862	
財源内訳	国庫支出金	計画	0	155,518	
		実績	0	90,556	
	県支出金	計画	0	0	29,514
		実績	0	0	29,238
	地方債	計画	0	0	950,700
		実績	0	0	950,700
	その他	計画	0	0	74,689
		実績	0	0	317,553
	一般財源	計画	0	0	2,583,854
		実績	0	0	2,209,815
人件費	計画	0	0	208,173	
	実績	0	0	201,508	
トータルコスト	計画	0	0	4,002,448	
	実績	0	0	3,799,370	

## 評価

施策の振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li>・ごみ減量説明会などを開催し、分別収集や生ごみ対策などのごみ減量に対する意識啓発を図ったことにより、家庭系燃やすごみの排出量が前年度比で4.6%減少した。</li><li>・電気式生ごみ処理機購入に対する補助や黒土生ごみ処理容器などをモニターへ配布することにより、生ごみの減量化が図られた。</li><li>・環境教育事業や環境出前講座、まちをきれいにする運動推進協議会の事業などを実施したことにより、市民の環境美化や環境保全、地球温暖化防止に対する意識が向上した。</li><li>・河川清掃などの地域美化活動を支援し、地域による環境美化が進められた。</li><li>・公害等に関する相談に対しては原因者指導などを行い、その解消に努めた。</li><li>・カーボンニュートラルを推進するため、電気自動車や住宅への太陽光発電設備等の導入支援、省エネ家電買換促進事業を実施した。</li><li>・市役所における地球温暖化防止実行計画を推進するため、公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査や公共施設一括LED化調査を実施した。また、公用車のEV化を促進するため、電気自動車を2台購入した。</li><li>・ペットの飼い方マナー説明会や飼い主への指導などを行うことにより、ペットの適正飼育に対する意識啓発を図ることができた。</li><li>・焼津市公共下水道経営戦略に基づき、汐入下水処理場の設備更新、管路施設の改築工事等を実施した。また、使用料について焼津市下水道使用料等審議会からの答申を踏まえた改定を行うなど適正な事業運営を行った。</li><li>・汚水処理の普及を図るため、公共下水道未接続世帯への接続勧奨や合併処理浄化槽設置の助成等を行った。</li></ul>
施策の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭系燃やすごみに含まれている生ごみ（重量比40.2%）の排出を減らす必要がある。</li><li>・家庭系燃やすごみに含まれているリサイクルできる紙類（重量比9.9%）プラスチック類（重量比11.2%）の分別の徹底を図る必要がある。</li><li>・2050年のカーボンニュートラル、2030年度46%以上削減（2013年度比）の実現に向け、第3次焼津市環境基本計画等に基づき、再生可能エネルギーの利用促進や省エネを推進していく必要がある。</li><li>・公共施設一括LED化や公用車のEV化などの施策を進めて行く必要がある。</li><li>・ペットの適正飼育の啓発や飼い主のいない猫の増加抑制対策を効果的に実施する必要がある。</li><li>・公共下水道については、「焼津市公共下水道事業経営戦略」に基づき、経営の健全化と施設の適正な維持、管理及び更新に努める必要がある。</li><li>・汚水処理人口普及率向上については、合併処理浄化槽設置の助成や公共下水道未接続世帯への接続奨励等により推進していく必要がある。</li></ul>
市民意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭ごみの減量を進めるには、出前講座などで周知することが有効であるため、今後も継続して実施していくことが必要。</li><li>・生ごみの減量を推進するため、電気式生ごみ処理機などの購入補助を継続した方が良い。</li><li>・公用車のEV化を積極的に実施した方が良い。</li><li>・飼い主のいない猫を増やさないための活動を推進してほしい。</li></ul>